

設計	くらし設計室
施工	ホーム株式会社
竣工日	2022年6月11日

◎建物概要

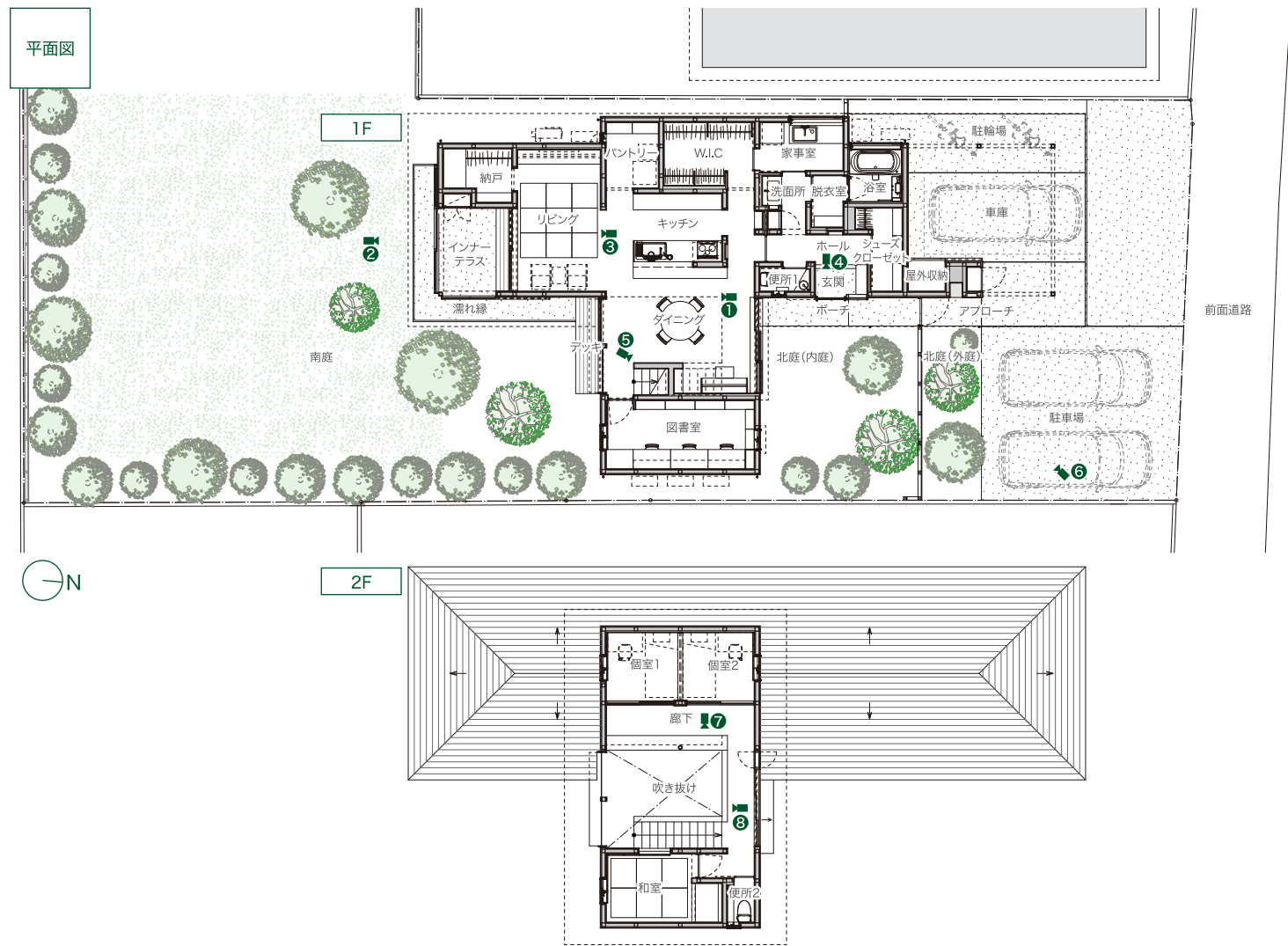
建設地	広島県
敷地面積	513.35㎡
延床面積	151.39㎡
構造・規模	木造2階建

◎設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター
給湯機器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン・床暖房



写真撮影／笹倉 洋平



設計コンセプト

多様な居場所と四季を感じる庭が一体となった住まい。広島県内の住宅街の一角に建つ住宅の計画である。南北に細長い敷地は、北側前面道路に接して周囲を新旧の住宅に囲まれている。周囲の道路幅が狭いため、密集した印象はあるが、古くからある住宅は豊かな庭と共に暮らしがあり、街並みに彩りを与えていた。この計画においても、住空間と外部環境を一体考えることで、内から庭、周囲の街並みへと緩やかに繋がるような、自然と暮らしが共にある住まいを目指した。

敷地西側中央に水回りなどの生活動線をコンパクトに納めた平屋を配置して、それと直交するように2層の居室棟がT字型に交わるプランとなっている。住宅と街並みが繋がるように板塀の前に外庭として植栽を施し、内庭へ緑が連続する北庭と、季節を感じる植栽と共にインナーテラスから地続きで使える南庭

を住宅の南北に計画した。

どこにいても家族の気配を感じられるように、T字型に交わる場所に集いの場である吹き抜けを持つダイニングを配置。南庭と繋がる大開口と北庭を眺める腰窓を持つダイニング、地続きで庭と繋がる半外部のインナーテラス、明るさを抑えた畳敷きのリビング、北庭を眺めるベンチ付きの玄関、2階居室・廊下からも吹き抜けを通して庭を眺めることができる。意匠美と性能を両立するため、庭と繋がる開口部は開閉方式と断熱ロールスクリーン、障子などの組み合わせにより気密・断熱性を高め、長期優良住宅仕様である耐震等級3、UA値：0.59W/(㎡K)となる計画とした。地域との繋がりを作りながら、家の中に庭と繋がる多様な居場所を点在させることで、日常の中で季節の移ろいを感じる心安らぐ居場所を届けたいと考えた。

審査委員講評

約150坪という郊外ならではの広い敷地を活かすT字プラン。縦と横両方に視線が抜け、家族4人の伸びやかな暮らしを想像でき、「体感的」ともいえる設計の巧みさを感じました。

また、南北に庭を配し、四季の自然の営みを住み手だけでなく、近隣へも届け、景観向上に寄与している点について、住宅地に家を建てることに対する責任を建築家と住み手が同じ目線で果たしていて、好感がもてました。



④北庭と繋がる玄関には、ベンチ兼手すりを造作した。
⑤ダイニングより北庭・吹き抜けを見る。
⑥北庭よりアプローチを見る。アプローチとなる北庭は周辺の庭との繋がりを考えて板塀の前に外庭としての植栽を施し、内庭へと緑が連続するように計画した。



⑦2階個室(子ども室)より本棚コーナー、吹き抜け、和室を見る。 ⑧2階廊下より南庭、個室を見る



①南向きの大きな窓から南庭の緑・澄んだ青空を眺め、太陽の光・自然の風を取り込むダイニング。窓の内側に木枠の溝を布が通る納まりの断熱ロールスクリーンを設置して断熱性を高めている。
②木製網戸の開閉により庭との繋がりを調整できる半外部のインナーテラス。
③明るさを抑えた畳敷きのリビングからインナーテラス、南庭を見通す。

